北先生に教えていただいたこと

高橋　あづみ†

私が北先生に初めてお目にかかったのは、大学四回生の冬でした。学部時代から司書課程でお世話になっていた川瀬綾子先生に、大阪市立大学大学院の創造都市研究科の受験を勧めて頂いた少し後のことです。

それまでは北克一先生というお名前をご著作で拝見したことがあるだけでしたので、緊張してほとんど喋ることができなかったことを記憶しています。その後、大学院において、同級生とのディスカッションや修士論文の中間発表、試問など、多くの経験を積ませて頂いたおかげで、もし今の私であればもう少しましな会話ができるのではないかと後悔しております。ですが、北先生と川瀬先生には、修士論文を提出するにあたりまして、非常にご迷惑をおかけし、大変お世話になりましたので、これから先も多大なる感謝の念を抱くとともに多少の緊張を感じてしまうのは、致し方ないことのようにも思われます。

そのように先生方のご助力を賜り提出させて頂いた修士論文ですが、そのテーマは「日本国内の公立図書館における電子書籍の導入とデジタルアーカイブ」でした。

北先生は図書館情報学において、幅広く研究しておられますが、その中でも注目されているテーマのひとつとして「電子書籍」がありました。加えて私自身、学部時代に障がいを持つ学生をサポートする活動を行なっていた経験により、障がい者サービスとしての電子書籍に興味を持っていたことから、この修士論文のテーマを選びました。

電子書籍とひと口に言っても、青空文庫のように著作権が切れた作品をテキスト化した非商用電子書籍や企業が有償で販売する商用電子書籍、CD-ROM やフロッピーディスクに記録された書籍など、その言葉が指すものは広範囲に及びます。

多様な捉え方のある電子書籍ですが、私はその中でも、公立図書館においての商用電子書籍サービスに焦点を当てて研究を行いました。私の研究当時は、全国の公立図書館での電子書籍導入館は増加の傾向はありつつも、全国で 53 館（自治体）に留まっていましたが、その後も徐々に増加しており、電子出版制作・流通協議会によれば 2018 年 7 月 1 日時点で 78 館（サービス中止中の館は除く）となっています[1]。今年、2018 年は、神戸市立図書館が電子書籍サービスを試験的に開始したこともニュースに取り上げられ、話題になりました[2]。

大学図書館では早くから電子ジャーナルの提供や機関リポジトリの構築などの形で、資料の電子化に取り組んでいますが、学校図書館に関しては学習指導要領の改訂の影響もあり、今後、電子教材や電子教科書の利用が現実的になっていくと考えられます。

デジタル資料は、図書館の関わる業界全体において、これから大きく発展してゆくであろうテーマであり、研究テーマとして学ぶ中で様々な知識を得られたのは幸運なことでした。

株式会社図書館流通センター

また、北先生のお話が、勉学以外でも私の世界を広げてくださったことも言うまでもありません。お酒を飲みながらの雑談の中にも、含蓄に富んだお言葉やアドバイスがあり、人生経験の浅い私にとっては、それもまた勉強になるものでした。さらに北先生は研究のみでは飽き足らず、様々なご趣味を持っておられ、それらのお話を伺うのもお会いするときの楽しみの一つでもあります。

大学院や北ゼミの先輩に、ご退官前の北先生の、学生にもご自身にも厳格であられる一面のお話を伺うことがあります。そういったお話を伺うと、物腰やお言葉は柔らかであってもご自身の意見はきちんと仰る先輩方が多いのも頷ける気が致します。私にとっての北先生は、先生ご自身はそんなことはないと仰るかもしれませんが、いつもお優しく、在学当時、私の大きな心の支えでした。あるいは、私があまりにも出来が悪くて呆れておられただけかもしれませんが。

北先生、そして北ゼミの先輩方にお会いできたことで、自分の生き方や考え方について改めて考えさせられ、その中で、自分自身に今なにができるのか見つめ直すきっかけになりました。

先輩方のように北先生のご退官前にご指導頂けなかったことは残念ですが、お会いできた巡り合わせに感謝致しております。

このたび北先生が古希を迎えられましたことを、心よりお祝い申し上げます。こうしてお祝いの言葉を述べる場を頂けたということ、非常に嬉しく、光栄に存じます。

今後とも北先生にはお身体にお気をつけて頂き、末長いご活躍をお祈り致します。

引用文献

1 電子出版制作・流通協議会 「電子図書館（電子貸出サービス）実施図書館」 2018.7.1, https://aebs.or.jp/Electronic_library_introduction_record.html [確認:2018 年 9 月 6 日]

2 野平悠一 「兵庫」電子書籍で24時間貸し出し 楽天と神戸市図書館」『朝日新聞 DIGITAL』2018.06.26, https://www.asahi.com/articles/ASL6P5CLVL6PPIHB01Z.html [確認:2018 年 9 月 6 日]

[受理：2018 年 9 月 10 日]